

YAKUDOU

NO.69



無料【Take Free】

から見渡した世界

目次

- ・平成25年度
公益財団法人静岡市体育協会表彰
- ・平成25年度
静岡市功労者表彰受賞者の紹介
- ・第17回体協ウォーキング
- ・平成25年度 スポーツ講演会
- ・加盟団体情報
- ・自宅で簡単♪首・肩こり解消ストレッチ
- ・平成25年度
スポーツ指導者資質向上講習会
- ・編集後記

平成25年度 公益財団法人静岡市体育協会表彰

功労章・優秀指導者章・優秀選手章

功労章

12名



鷺巣 彌生

静岡市弓道連盟

昭和63年から弓道教室の指導員として長きにわたり、後進の指導を行い、多くの弓道人を育成してきた。

市連盟理事以外に県連盟理事も任され、「愛知わかしゃち国体」の成年女子監督として優勝に導き、「大阪なみはや国体」まで参加している。自身も、京都での全日本弓道大会において2位入賞を果たすなど輝かしい成績をあげている。



中山 利一

静岡市剣道連盟

全剣連の居合道昇段審査や大会において、静岡市及び県の個人、選手、代表が好成績を収めているのは、その親切、丁寧な指導によるところが大きく、老若男女の門下生から厚い信頼を得ている。

現在、全日本剣道連盟居合道教士七段として、静岡市における居合道の普及と後輩、後継者の育成にも尽力している。



原田 勉

静岡市山岳連盟

長年にわたり、静岡市山岳連盟の要職を務め、その間、ハイキングスクールの講師や山岳遭難事故の対応などを積極的に行ってきた。

また、南アルプス登山シーズンには、登山指導センターで、全国の登山者に登山全般の指導を行うとともに、高原植物の保護活動においては、鹿食害対策等に尽力するなど多大な貢献をしている。



高橋 節夫

静岡市サッカー協会

昭和44年から平成19年までの38年間、静岡北高等学校サッカー部監督として数多くの優秀な選手を育成し、静岡市内の高校生へのサッカー競技の普及と競技力向上に多大な貢献をした。

昭和57年には静岡市内の小学生、中学生（男子、女子）を対象に、静岡市ジュニアサッカートレーニングセンターを開設し、長年にわたり指導スタッフのリーダーとして活躍した。



野田 昭一

静岡市柔道連盟

平成4年度から静岡県柔道協会の強化委員長、平成10年度からは東海柔道連合会常任委員を歴任し、平成15年度には、静岡県で初めてとなる全国高等学校体育連盟柔道部副部長に就任した。

現在は、静岡市柔道連盟副会長、静岡県柔道協会副会長・理事長として、本市・本県の柔道界の発展に貢献している。

講道館柔道七段



落合 徹

静岡市水泳協会

選手時代に培った水泳技術を活かし、静岡市水泳協会が主管する水泳教室において熱心な指導を行う。その人柄を慕い水泳教室に通う参加者はとても多かった。

静岡市水泳協会では、昭和50年から理事を務め、現在は顧問として理事等の指導にあたり、静岡市水泳協会の発展に尽力している。



市川 雅子

静岡市ソフトテニス協会

昭和47年から地域スポーツ指導員として、静岡市内各中学校男女ソフトテニス部で指導し、上位入賞の実績を上げる傍ら、自らも全日本大会において優勝果たす等、輝かしい成績を上げている。

また、県連盟副理事長をはじめ、県レディース連盟会長、静岡市ソフトテニス協会常任理事等多くの役職をもち、競技力向上と普及発展に寄与している。



陰山 正敏

静岡市テニス協会

昭和47年4月より静岡市テニス協会主任指導員として、市民体育館テニス教室の指導・運営に長年にわたり携わり、“明るく、楽しく、元気よく”をモットーに情熱をもって指導にあたり、テニス普及に尽力している。

協会運営にも熱心に取り組み、テニス大会の競技役員としても手腕を発揮し、各大会を成功に導いている。その功績は大である。



山本輝男

静岡市バスケットボール協会

昭和40年、清水市バスケットボール協会理事長として、昭和55年より副会長として協会の運営にあたり、競技力の向上に努め、数多くの優秀なチーム・選手を育成してきた。

また、平成19年より静岡市スポーツ振興審議会の委員として、市民のスポーツの振興・発展に寄与している。



佐藤眞雄

静岡市ソフトボール協会

平成4年に第三種審判員の資格を取得し、協会の事務局と審判員の仕事を両立され協会運営に貢献される。

平成8年から常任理事として協会の財務を担い、平成18年には副理事長に就任した。副理事長就任後も向学心を活かし、経理のみにとどまらず、協会運営全般の合理化、改善に貢献している。



宮田幸枝

静岡市スケート協会

ヤングランドスケートリンクが開設されてすぐに、日本スケート連盟準指導員資格を取得し、多くのスケート教室で幼児から大人まで幅広い年齢層の人を指導してきた。

温厚な人柄により仲間が集まり、いつも明るく女性人のリーダーとしてチームワークを良好にし、市スケート協会ならびに県スケート協会の発展に大きな貢献を果たしてきた。



海野美代子

静岡市ダンススポーツ連盟

平成10年から静岡市ダンススポーツ連盟の副会長を務めた後、現在は会長の職務に励んでいる。

積極的に会員相互の親睦と交流を深め会員からの信頼も厚い。

また、年間を通して全国を対象とした競技会、演技発表会、技術講習会及び親睦交流会等を企画・立案・施行し、会員の質的向上に努めている。



赤石裕一

静岡市弓道連盟



伊東靖博

静岡市弓道連盟



佐藤春光

静岡市剣道連盟



望月茂彦

静岡市剣道連盟



藤ヶ谷貞雄

静岡市山岳連盟



鷲山 久

静岡市山岳連盟



吉野 保

静岡市クレイ射撃協会



西村 勉

静岡市サッカー協会



川柳史朗

静岡市サッカー協会



興梠正人

静岡市柔道連盟



茶山和巳

静岡市柔道連盟



國行 謙

静岡市水泳協会



村松 康

静岡市水泳協会



漆畑寿伸

静岡市スキー協会



川根重人

静岡市相撲連盟



大石幸男

静岡市ソフトテニス協会



篠崎 彰

静岡市ソフトテニス協会



大山正信

静岡市テニス協会



杉本 寛

静岡市テニス協会



片瀬孝幸

静岡市バスケットボール協会



大石嘉春

静岡市バスケットボール協会



吉田幸雄

静岡市バレーボール協会



小西正夫

静岡市バレーボール協会



鈴木幸雄

静岡市野球連盟



竹中和夫

静岡市野球連盟



村松潮見

静岡市ラグビーフットボール協会



佐々木茂雄

静岡市陸上競技協会



安本秀樹

静岡市ソフトボール協会



池ヶ谷康男

静岡市ソフトボール協会



奥田郁夫

静岡市スケート協会



水鳥節子

静岡市体操協会



岡端 隆

静岡市体操協会



横井弘吉

静岡ラジオ体操連盟



賤機三千夫

静岡ラジオ体操連盟



細澤保雄

静岡市空手道連盟



佐藤美佐子

静岡市武術太極拳連盟



田澤啓子

静岡市武術太極拳連盟

優秀選手章

6名



佐藤和哉 静岡市柔道連盟

大会名：平成24年度全国高校柔道選手権大会

期 日：平成25年 3 月19日

記 録：男子個人無差別級 優勝

会 場：日本武道館



遠田真子 静岡市柔道連盟

大会名：2013年世界カデ柔道選手権大会

期 日：平成25年 8 月 8 日～ 8 月11日

記 録：女子個人70kg級 第 2 位

会 場：Doral Legends Ballroom (アメリカ・マイアミ)



村上泰夫 静岡市ソフトテニス協会

大会名：第17回全日本シニアソフトテニス選手権大会

期 日：平成25年 9 月22日

記 録：男子55の部 優勝

会 場：神戸総合記念公園テニスコート



中澤航介 静岡市陸上競技協会

大会名：第29回全国小学生陸上競技交流大会
期 日：平成25年 8 月23日～ 8 月24日
記 録：男子 5・6 年80mハードル 12秒31(県小学生新) 優勝
会 場：横浜日産スタジアム



森川顕範 静岡市体操協会

大会名：2013年全国日本ジュニア体操競技選手権大会
期 日：平成25年 8 月12日
記 録：男子Bクラス 跳馬 優勝
会 場：横浜文化体育館



鈴木大葉 静岡市体操協会

大会名：2013年全国日本ジュニア体操競技選手権大会
期 日：平成25年 8 月12日
記 録：男子Bクラス 平行棒 優勝
会 場：横浜文化体育館

平成25年度 静岡市功労者表彰受賞者の紹介

平成25年11月23日（土・祝）「平成25年度静岡市功労者・有功者表彰式」が清水文化会館マリナート（清水区島崎町）において行われ、以下の方が受賞されました。おめでとうございます。

教育文化功労

教育・学術・美術・工芸・体育その他文化の振興に貢献し、功績顕著な人・団体に贈られる。

静岡市トランポリン協会 理事長
海野弘美



10周年記念式
新静岡市誕生

第17回体協ウォーキング

第17回体協ウォーキング

平成25年10月6日（日）

霊峰の麓、東海自然歩道を歩く
～東京農業大学 富士農場から田貫湖まで～



平成25年10月6日（日）に第17回体協ウォーキングが開催されました。当日は天候が心配されましたが、おかげさまで無事に開催することができました。今回は平成17年度にご好評いただいたウォーキングコースを再び歩く形で、東京農大富士農場前を起点に、麓のつり橋、陣馬の滝を經由し、小田貫湿原を通り、田貫湖までを歩くおよそ10キロのコースでした。

富士山が世界遺産に登録されたこともあり、定員120名を大きく超える申し込みがありました。

最初の休憩所である陣馬の滝にはおよそ4.3km、1時間程で到着。「陣馬の滝」という名は、鎌倉時代の初め、源頼朝が行った富士の巻狩りの際、滝の近くに一夜の陣を敷いたことから名づけられたそうです。水量の一部は湧水であり、非常に水がきれいなことで有名で、そこから発せられるマイナスイオンの冷気は参加者を涼ませてくれました。当日は曇りでしたが、このときは雲の合間から太陽が顔を出し、滝が輝いて非常に美しく見えました。



途中で訪れた小田貫湿原は、静岡県側の富士山麓では唯一の低層湿原で、大小125余りの池が点在しています。大きな湿原の中央には、渡り板が掛けられており、小田貫湿原ならではの珍しい昆虫や植物などを間近に見ることができます。なお、昆虫は70種余りの蝶、20種余りのトンボが生息し、野鳥や蛙も姿を見ることが出来ます。

予定よりも順調に進み、ゴール・昼食休憩地点である田貫湖に到着しました。田貫湖では湖畔で見ることでできるダイヤモンド富士や水面に映る逆さ富士が有名です。今回は残念ながら、厚い雲に阻まれて、田貫湖から富士山の全貌を見ることは叶いませんでしたが、参加者の皆様には田貫湖の自然に囲まれての昼食をお楽しみいただけました。



また、帰りには道の駅朝霧に寄り道し、買い物を楽しんでおられました。当日は県外ナンバーのバスも見受けられ大変活況を呈しており、いたるところが買い物客でにぎわっておりました。

全参加者に事故・怪我なく、無事に終了することができました。今回も静岡市山岳連盟の方々にご協力を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

公益財団法人静岡市体育協会主催
平成25年度 スポーツ講演会
「フィールドから見渡した世界」
講師：中西哲生 氏
スポーツジャーナリスト



平成25年11月27日(水)に18時30分から、しずぎんホール《ユーフォニア》にて、一般市民を対象にスポーツ講演会を開催しました。

今回は、元プロサッカー選手で現在はスポーツジャーナリストとして活躍されている中西哲生さんをお迎えし、「フィールドから見渡した世界」をテーマに、お話し頂きました。

初めに、ご自身の紹介VTRを放映し、その後、スライドやビデオを使用しての講演でした。現在、日本代表の主力選手である本田選手や長友選手の映像を交えながら、挫折を成長に繋げていくことや人間力を向上させること等をお話し頂きました。お話しぶりからも、大変真面目な人柄が伝わり、熱意と説得力を感じました。

内容も非常に多岐にわたり、幅広い方々に聞いて頂ける内容であり、聴講者の感想も、「サッカーだけでなく、普段の生活に活かせる内容だった」「人間力の向上、自己更新力という言葉が非常に印象に残った」といった感想を頂きました。

～スポーツ講演会特別企画～

中西哲生さん
インタビュー

「自分に何か意見を言ってくれる人に対して
挨拶だったり、お礼が言えたり、返事ができること。
そういったことが大事になるんじゃないかなと思う。」

ーサッカーを始められたきっかけというのは？

実は、小さいころは野球をやっていましたが、名古屋には2つしかリトルリーグのチームが存在せず、家から通える距離に無いので厳しいなということになって、たまたま近所の1つ上の友達がサッカーの少年団に入っていたのでそこに入ることにになりました。それが小学生3年の9月頃です。

ー小学生の頃からサッカーを始めて大学までサッカーをやり、その後プロになるというのは自分ではどのように決断しましたか？

もちろんやりたいとは思っていましたが、決断したというよりは、自分がプロになりたいと思っても入団テストがあったわけでもないで、誘って頂いたということが大きかったです。後は、プロという組織が成り立っていないとプロになれないわけで、自分が92年に卒業した時にJリーグが出来たというのが大きかったと思います。リーグは93年からでしたが、92年にはナビスコカップがあって、そういうタイミング、Jリーグができるということが分かって、91年から始動していた名古屋グランパスに誘ってもらえたのが大きいと思います。

ーもしもタイミング的に合わずにサッカー選手にならなければ？

自分自身は海外で仕事をしたいと考えていたので商社に行きたいと思っていました。先輩は商社やメディア関係、保険会社などに就職していましたし、実際に就職活動をおこなって、OB訪問にも行ったりしていました。

ーそのような中でタイミングが合ってプロになるという選択をされたわけですね？

そうですね。当時は今みたいに社会情勢が悪いわけではなく、バブルの末期でサッカーを辞めても再就職できるイメージがあったので、今はやりたいことをやろうと。サッカーが出来るのは22歳のその時しかないけど、会社勤めはその後でも出来るし、逆に会社勤めをしてからプロになるのは難しいという思いもあって。今の環境では出来ない決断ですが、躊躇はありませんでした。

ー自分が試合に出られない時もあったかと思いますが、控えになったときの自分の気持ちやモチベーションの持っていく方は？

何時も試合に出ていた選手ではなく、名古屋時代はよくベンチに座っていたので、自分の力が足りないということは十分に分かっていました。確かに出たいという気持ちはありましたが、出る事の可能な選手は11人しかいないので、それ



は受け入れて、自分が何で出られないのか理由を考え、分析して、何をすべきか考え、もっと自分自身を成長させるような努力を行っていました。

－入団されてから引退まで9年間という期間のなかで、引退をどのように考えて決断をされましたか？

日本代表に選ばれたこともなかったですし、自分自身は凄い選手ではないことを理解していました。名古屋から当時2部の川崎フロンターレに移籍してからは、キャプテンを務めるなど毎回試合に出る状況にありましたが、自分の中では22歳で入って8年間の30歳まで何とかやりたいという気持ちでやっていたので、9年間、31歳まで出来て、凄く嬉しかったし、良かった、頑張ったなど、正直に思ってます。

一方でまだそれ以上出来たとも思いますが、サッカー選手になった時から、一生サッカー選手で生きていけるわけではなく、次の人生で自分はメディアでサッカーを伝える仕事をやりたいと思っていたので、今の仕事を輝かせた上で、次の仕事をイメージをしながら様々な準備をしていました。

その中で最適なタイミングが2000年の12月の引退でした。1年半後の2002年に日韓ワールドカップの開催が決まっており、それが自分にとってのビジネスチャンスと捉えると、そこに向けて1年半準備期間があれば勝負可能なパフォーマンスが発揮できると思っていました。2002年のワールドカップなら、当然、多くの解説者が必要になる中で自分にもチャンスが回ってくると思ったので、そこで良いアピールをして次に繋げていくことを考えていました。

－現役を引退され、考え方は変化しましたか？

当然あります。常に変化していて、今日も変化していますし、明日も変化すると思います。現在の仕事でいえば、スポーツを見ている方は多くいると思いますが、深く見ている方、ライトに見ている方、様々な方々がいらっしゃる。その中でどうやって伝えていくかを考える時に、自分の持っている感覚、考え方を捨て去らなければいけないことを考えます。

例えば、「サンデーモーニング」を見ている方と、専門誌を見ている方では全く異なりますし、勿論、プロサッカー選手と話している中でも違うので、常に受け取る側によって自分の話す内容、バランスを考えています。その中でサッカーであれば、やるサッカーと観るサッカーでは目線が違うので、そこを伝えられればなと思っています。



－スポーツ・競技を通じて何かに取り組んでいる子供たちに伝えたいことはありますか？

何でも精一杯楽しんで欲しいということと、コーチ・スタッフ・周りのチームメイト、競う対戦相手を大事にして欲しいです。サッカーでいえば、レフェリーや相手が居ないと自分1人で何かが出来るわけではないので、練習が出来ること、試合が出来ることに対して有難みを感じてプレーして欲しいです。

また、挨拶が出来ること。目を見て話すことが出来ないと一流の選手にはなれません。ただ単に技術や競技の力だけで上に登って行くのは難しいし、スポーツを通じて礼儀や自分1人では何かが出来るわけではないことを学んで欲しいです。

そういう点では、今までの人生を振り返ってみると、こういう時にこんな人にこんなことを言われたというのが影響をしていると思います。ここに至るまでの人たちが皆、僕を形成するうえで様々な助言をしてきていたことがここにつながっているというのを最近、事有る毎に感じています。そういうことを考えると、子供の頃から自分に対して何か意見を言ってくれる人を大事にすること。同時にそういう人に挨拶だったり、お礼が言えたり、返事ができること。そういったことにちゃんと向き合う気持ちを持つことが大事になるんじゃないかなと思います。

－本日は良いお話をありがとうございました。

ありがとうございました。



加盟団体情報

静岡市サッカー協会

静岡市サッカー協会は毎年、体協補助事業として3つの事業を行っています。

1. チャレンジドサッカー教室

清水第八ブレイデス選手及び指導者が、長崎新田、Jステップ、蛇塚清水特別支援学校を使い、ハンディキャップのある社会人を主とした方々に健常者同様の環境を提供することをめざし、様々な体験を通じてサッカーの楽しさを味わっていただき、拡大育成、環境整備を目的にして実施しています。

2. 低年齢層対象初心者サッカー教室

所属指導者が、静岡フットサルスタジアム他で、競技人口の減少に歯止めをかけるべく低年齢層からのスムーズな導入を図り、競技人口の増加と底辺拡大を目的に市内の小学校1、2年と園児を対象に教室を開催しています。

3. 静岡トレーニングセンターU-12韓国派遣

協会所属選手と指導者を韓国・ソウルに派遣し、親善試合や日韓合同イベントによる国際国流はもちろんのこと、社会見学などで異文化に触れて国際感覚豊かな人材育成を目的に行っています。



静岡ラジオ体操連盟

多くの先輩と地域の方々のご協力のもとに、今年創立50周年を迎えることとなりました。

市内64会場には早朝より3,000人余りの健康志向の人々が集まる団体です。会員の中には市長をはじめ、国・県・市の議員の方々も参加されております。どうぞ皆様もご参加ください。



連盟の主な行事

- 1月 初詣
- 2月 建国記念パレード
- 4月 静岡まつり夜桜乱舞
- 5月 指導者養成講習会
- 7月 1000万人中央大会
- 8月 市民ラジオ体操祭
- 10月 表彰式・運動会
- 11月 秋季認定講習会
- 12月 連盟祭（50周年）



静岡市合気道連盟

静岡市合気道連盟では1年の交流の中で2回演武発表会を開催しています。1回目は春先の5月に交流のある複数道場の方たちと北部体育館柔道場で各流派の演武会を行っております。2回目は秋口に11月に静岡市合気道連盟、各曜日の教室ごとの演武会となります。この秋口の演武会は主に教室受講生にスポットをあて、入門当時から成長を他の教室の皆様に見ていもらい、受講生のやる気の向上を目的として開催しております。

どちらも公開しておりますので、興味のある市民のかたは足をお運びください。

※日程等は静岡市合気道連盟のホームページをご確認ください。



静岡市トランポリン協会

第41回全日本ジュニアトランポリン競技選手権大会が7月25日～7月28日、山形県・上山市体育文化センターにおいて行われ大会に参加した選手が以下の成績を収めました。



男子最高難易度点賞	海野大透
小学生高学年男子	第5位 永井 元
中学生男子	第3位 海野大透

第41回西日本トランポリン競技選手権大会が9月20日～9月22日に石川県・金沢総合スポーツセンターにて行なわれ、以下の成績を収めました。

小学生高学年男子	第1位 永井 元
中学生男子	第1位 海野大透

静岡市ハンドボール協会

平成25年11月23日(土)に第38回日本ハンドボールリーグ第12週が静岡市中央体育館で開催されました。当日は13:00～湧永製薬対東北電力、15:30～大崎電気対トヨタ自動車東日本の男子リーグ2試合が行われました。

大崎電気所属の日本を代表するハンドボール選手、宮崎大輔選手も来場し、会場は多くのハンドボールファンが集まり大いに盛り上がりを見せしていました。

26年度にも中央体育館で開催予定です。



静岡市水泳協会

平成25年8月21日から23日の日程で全国中学校水泳大会が開催されました。大会1ヶ月前の7月15日に、競泳会場であった富士水泳場の天井が落下し、急遽静岡県立水泳場に変更となりましたが、選手・競技役員等大会に関わる全員がチーム静岡として団結し心に残る素晴らしい大会となりました。

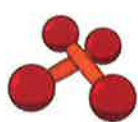


静岡市からは競泳男子4名、競泳女子3名、飛び込み男子3名が出場しました。中でも望月絹子選手(清水第六中)が200m個人メドレーではラスト50メートルで4人を抜き、2位と大活躍をし、さわやかな感動を与えてくれました。

また、岡野広治選手(静岡東中)が1500m自由形7位入賞、杉山華彩選手(大里中)は200m背泳ぎで6位入賞し、県中学記録も樹立しました。

静岡市水泳協会は選抜された選手を中心に合宿や練習会を開催し更なる競技力向上を図っていきます。





自宅で簡単♪ 首・肩こり解消ストレッチ

1



1 首倒し（前・後・左・右）

口から息を吐きながら頭を倒し、息を吸いながら元の位置に戻します。前は顎を胸につけるように、左右は耳を肩につけるように行いましょう。

2



2 首まわし

顎を胸に引き寄せ、呼吸を止めずにゆっくり頭を回します。1回転したら反対側も行いましょう。

3



3 肩の上げ下げ

鼻から息を吸い両肩を耳たぶに近づけるように引き上げ、口から息を吐きながらストンと下します。これを数回繰り返しましょう。



ワンポイント！

体が冷えている状態でいきなりやらず、入浴後など体を温めてから行うと効果的です。

指導監修：（公財）静岡市体育協会 統括チーフインストラクター 高尾広子

平成25年度 スポーツ指導者資質向上講習会

平成26年2月10日（月）に静岡市中央体育館3階大会議室において、スポーツ指導者資質向上講習会が行われました。今回の講習会では、「スポーツ文化と体罰について」というテーマで溝口紀子先生にご講義いただきました。

2020年東京五輪誘致成功の裏話に始まり、その後、女子柔道強化選手の暴力告発問題、さらに静岡県の教育現場における体罰の実態、フランスと日本のスポーツに対する考え方の違いや指導におけるルール作りの大切さ等のお話し頂きました。参加者からも、「言葉による指導の大切さを実感した」「非常に興味深い内容だった」といった感想を頂きました。



【編集後記】

第69号を各種競技団体関係の皆様及び事務局のご協力により、発行できましたことを心より感謝申し上げます。

今号におきましては、長年に亘り各種団体の発展向上にご尽力され、平成25年度静岡市体育協会表彰を受賞された方々をご紹介させて頂き、また、加盟団体の紹介をし、多くの方々に参加を呼び掛けたいと思います。

今後も、「躍動」を通じてスポーツの普及・発展に貢献していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

調査広報委員 鈴木 榮・千原 圈一

☆広報誌に掲載の事業へのお問合せは、公益財団法人静岡市体育協会 ☎ 054-273-1788 ままでどうぞ☆

市体協ホームページ

<http://www.shizuoka-sports.or.jp>